

平成24年3月1日

25駅・37カ所に42型のプラズマディスプレイ 4月1日（日）から全駅に運行情報ディスプレイを設置 異常時の運行情報のほか、平常時には沿線情報や他社線の運行情報を表示

相模鉄道株式会社

相鉄グループの相模鉄道(株)（本社・横浜市西区、社長・小澤 重男）では、平成24年（2012年）4月1日（日）から、相鉄線全改札口（25駅・37カ所）付近に、運行情報や沿線情報を視覚的に表示する運行情報ディスプレイを設置します。

これまでもお客様への迅速な情報提供のため電光掲示盤を設置していましたが、今回、全駅に42型（一部50型）のディスプレイを設置することで、これまでの文字情報だけでなく、ユニバーサルデザイン仕様の書体と色を使用し視覚的に分かりやすく情報を提供することが可能となります。

相鉄線異常時には、運行情報や他社線への振替輸送のご案内をするなど、駅にいらっしゃるお客様に分かりやすく情報を提供します。また、平常時には相鉄グループのニュースや沿線情報を提供するほか、他社線の運行情報も表示しますので、その後の移動手段を考える際に便利にご利用いただけます。

概要は別紙のとおりです。



帰宅困難なお客様が発生した場合にお客様への情報提供に期待されるディスプレイ（イメージ）

運行情報ディスプレイの概要

1. 使用開始日 平成24年(2012年)4月1日(日)
2. 設置駅 全25駅
3. 設置数 37台(全改札口付近)
4. サイズ 42型プラズマディスプレイ(一部、50型)
5. 内容 ①相鉄線異常時
→・内容(発生時期、発生場所、原因、現在の運転状況)
・他社線への振替え輸送の有無 など
②平常時
→・相鉄グループの情報(ニュース、マナー啓発、沿線情報など)
・他社線の運行情報 など

以上